

学生担当者報

- Vol. 330 -

発行／天理教学生担当委員会 発行責任者／吉川万寿彦 編集責任者／松村孝吉

[TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX]0743-62-5780

[E-Mail]tsa@tenrikyo.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教177年
平成26年7月25日発行「私は天
理教を信仰
している学
生です！」
学修大学

「信仰の灯を心に持ち続けるために」

の部などで幾度となく聞く、路傍講演の最初の言葉。聞きなれたこの言葉を新鮮な響きで聞く機会がありました。それは昨年、とある教区で開催された大学生向けの行事でのことです。

学生たちが自ら企画したプログラムのメインは、神名流しと路傍講演。一泊二日の行事初日、夜の一コマ、参加者たちは皆、真剣に、路傍講演の原稿作りをしていました。そんな中、一人の女子学生に話を聞くと、「明日が楽しみ！」と満面の笑み。彼女は学修大学の部で初めて経験した神名流しや路傍講演にやりがいを感じ、それ以来、地元でも同じように、にをいげける機会を心待ちにしていたの

でした。

翌日、前夜の言葉どおりに、イキイキとして本当に楽しそうに彼女の姿からは、良いにをいが香り立っていました。街で一番繁華な場所でも臆することなく、声高らかによろづよ八首を奉唱し、また道行く人々に、自信を持って思いを伝える姿。おちばから遠く離れた地で目にしたその光景に、新鮮な感動を受けました。

「近頃の若い者は」とは、大人が若者を評するときの定番の台詞ですが、まったく反対の意味で「近頃の若い者は」と思わず唸ってしまいました。

私たちの信仰の拠りどころは言うまでもなく、おちばです。そのおちばで学び得たことを地元で行い日常に生かし、そしてまた、おちばへと心を寄せることは、理想の形ですが、「言うは易く行うは難し」。日常の中で、

学生部 委員

清水 国朝

信仰の灯を心に持ち続けることは、学生たちにとって簡単なことではありません。通学のために親元や教会から離れることも多い大学生ならなおさらです。そんな彼らのために、冒頭に紹介しました行事「大学生の集いWork & Talk」があります。

学生が企画するので、ユニークで楽しいプログラムが多く、初めての参加でもすぐに仲間にとけ込むことができます。「Work & Talk」は、同年代の友と存分に語り合い、にをいがけやひのきしんを通して、自分の心と真剣に向き合い、互いに刺激しあい、信仰を深める場。そこで得た経験や人とのつながりは、一生の宝物になります。

道の将来を担う彼らが、学生のうちに、一つでも多くの宝物を得て、心豊かな人生を歩めるよう、一人でも多くの参加をお待ちしております。

立教177年 学生担当委員会 活動方針

『おたすけの喜びを学生に！』～あらきとうりよう・みちのだいとして共に育とう～

立教177年7月25日

学生担当者報

・明和	・五條	・岡山	・此花	・中野	・蒲生	・西宮	・堺	・兵神	・網島	・北洋	・岐美
6月24日	6月23日	6月23日	6月23日	6月23日	6月23日	6月23日	6月23日	6月23日	6月22日	6月22日	6月22日
大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	大教会	分教会	大教会	大教会
吉川委員長出向	木村委員出向	飯降委員出向	泉委員出向	片山委員出向	吉川委員出向	福江委員出向	村田委員出向	吉川委員長出向	秋岡副委員長出向	吉川委員長出向	茶谷委員出向
115名	90名	160名	170名	120名	60名	150名	100名	350名	32名	103名	350名

人事

・治道 6月24日 大教会 124名
・八木 6月24日 大教会 200名
飯降委員出向

《立教177年6月25日付》
【直属学生担当委員長辞令交付】
・渡辺敏郎 (筑紫)
・北嶋正直 (高松)
・松山勇一 (江州)

《立教177年6月30日付》
【学生担当委員会事務局退職者】
・大西信敬 (北・竹肥佐)

業務記録

《立教177年6月16日～立教177年7月15日》
6月16日 委員会 人材育成部部会
学修高校の部研究室会議
17日 委員会 学生連絡会
まなびば研究室会議
学修部部会
19日 屋内プログラムチーム会議
20日 『Happist』納品
21日 事務局連絡会

23日	『Happist』梱包
24日	学修高校の部スタッフ
25日	事前研修会 (25日)
26日	例会 HARP勉強会
27日	出版部会
27日	ビデオチーム会議
7月1日	教祖130年祭学生おちばがえり 大会プロジェクト会議
2日	春学プロジェクト会議
3日	要員育成室会議
3日	学生部部会
7日	学生連絡会
7日	まなびば研究室会議
7日	HARP新刊本チーム会議
8日	明日のHARP会議
8日	学修部部会
8日	委員会 出版部部会
9日	学修高校の部研究室会議
9日	春学プロジェクト会議
9日	学修大学の部研究室会議
11日	屋外プログラムチーム会議
11日	広報室会議
11日	屋内プログラムチーム会議

立教177年 教区担当者懇談会のご案内

日々は、学生層育成の上に変わらぬご丹精をいただき誠にありがとうございます。
さて、来る9月は例会に先立ち、「教区担当者懇談会」を下記の通り開催します。
教務ご多忙の折とは存じますが、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 【期 日】 立教177年9月25日（木）
- 【時 間】 13時～19時30分（12時30分より受付）
※途中16時より例会
- 【会 場】 本部第12母屋
- 【対 象】 教区学生担当委員長、まなびば担当者、担当委員（計3名まで）
- 【内 容】 ねりあい、例会後会食等
- 【申 込】 参加申込票を8月25日（月）までにご提出ください。
※FAX可（0743-62-5780）

「まなびば」開催会場一覧 《8月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
大阪 ※下記参照	8月27日8時～29日18時	国立淡路 青少年交流の家	矢野	
兵庫 (但馬ブロック)	8月28日13時 ～29日14時30分	兵庫県立 但馬長寿の郷	三宅	
香川	8月29日13時～30日15時	教務支庁	久保	
和歌山	8月30日12時～31日15時	教務支庁	木村	
岡山	8月30日9時～31日18時	鳥取県立 大山青年の家	松井	

※大阪は教区学生ひのきしん隊参加者及びおちば管内高校生対象
☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

学生生徒修養会高校の部 スタッフ事前研修会 開催報告

学修本期間に向けてスタッフが真剣に研修を行い理づくりを誓い合う

六月二十四日から二十五日にかけて、本部第十二母屋と第三十八母屋を会場に、学生生徒修養会高校の部スタッフ事前研修会を開催し、総数四五七名（内、初参加者が百三十四名）のスタッフ、八月九日から十五日までの本期間に備えて研修に励みました。

昨年、この研修会は六月二十七日から二十八日に行われましたが、本年は二十八日、二十九日が「教祖百三十年祭ようばくの集い」の開催期間の最終の土日曜日にあたり、多くの会場で集いが行われることから日程を変更しました。初日の午前、各母屋で受付を済ませ、寮別タイムを終えた後、第三十八母屋九階大広間に集合し、開講式に臨みました。開講式で挨拶に立たれた表統領上田嘉太郎先生は、「教祖百三十年祭ようばくの集い」のビデオにも触れつつ、

学修で多感な高校生たちの世話取りをすることは、若い人たちの将来をおたすけ、していることになる。共に育つことになるこの御用を、りと責任感を持って務めてもらいたい旨をお話しくださいました。

続いて、秋岡副委員長より挨拶と寮長・副寮長・校舎長の紹介が行われ、その後、片山学生生徒修養会部部长より本年のコンセプト説明がありました。その後、チームエクササイズと係員の服装についての申し合わせ事項を確認、各寮や係に分かれて期間中のプログラムの打ち合わせが行われました。

夕方には、第二食堂にて第一期学生担当委員会副委員長深谷徳重先生より、これまで学生層育成に携わられたご経験、ご自身が心に定められた日々の信仰実践から、スタッフとして学

修に向かう上で心すべきことをご教示いただきました。その後、今回、国内の全ての教会長にお渡しすることになった受講生動員の依頼文書の配付準備作業を行いました。作業を通して、各教会から学生をおちばでお預かりするという意識を高める機会となりました。

二日目も、寮毎での研修が行われ、本期間に向けて備えておくべきことを学ぶと共に、各寮の寮長を中心に一手一つに心を揃えることに努めました。

午後からの開講式では、吉川委員長より学生に思いを伝える上では日々の理づくりが大切である。また、あらしとよりよう・みちのだいとしてつとめる我々スタッフの姿から、学生に信仰の喜びを感じ取ってもらえるよう務めることが大事であると伝えられました。そして、前真柱様が生前、学修にお掛け下さった親心にお応えさせていただけるよう全力で務めることを一同で誓い合いました。

立教177年 9月15日(祝) 道の学生ひのきしんDAY

～あふれる感謝と喜びを、さあ広げよう!!～

学生会は、学生が信仰の喜びを感じられる場所であると思っています。だからこそ、普段から少しでも多くの学生が学生会につながってもらえるよう、働き掛けを行っております。この「道の学生ひのきしんDAY」においても、よりたくさんの方に参加してもらい、

今年の、「道の学生ひのきしんDAY」は九月十五日に開催いたします。テーマは、「あふれる感謝と喜びを、さあ広げよう!!」です。ひのきしんDAY当日、たくさんさんの仲間と共にひのきしんをすることで、日常にあふれる親神様のご守護に気づき、そのご守護への感謝と喜びの心を、ひのきしんDAYが終わってからも一人ひとりが持ち続け、ひのきしんを実践していくことで、周りの人にも感謝と喜びの心を広げていけるような行事にしたいと思っています。



天理教学生会
委員長 大瀬裕太

日々は学生会活動にご理解、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。



天理教学生会委員長 大瀬 裕太

ひのきしんを通して、たくさんさんの仲間と共に感謝の心を分かち合い、共に親神様のご守護を感じることができるよう、働きかけをしていきたいと思います。

そして、この「道の学生ひのきしんDAY」で、たくさんさんの仲間と勇んでひのきしんを行う姿を、親神様、教祖にご覧いただき、お喜びいただけるよう、つとめさせていただきます。その上から、学生担当の先生方には、お声掛け、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

開催会場一覧は『Happist8月号・9月号』もしくは、TSA websiteに掲載します。
開催会場等の変更がある場合は、学生担当委員会事務局までご連絡ください。
(直通：0743-63-2489 内線5817)



立教177年 直属学生リーダー講習会開催要項

天理教学生会直属部では毎年、直属教会における学生活動の活性化を図るべく「直属学生リーダー講習会」を開催し、講話やねりあいを通して直属学生活動の意義を考えていきたいと思います。また、この期間は全教一斉にをいがけデーの期間ですので、にをいがけをさせていただきます。何卒貴教会、貴教区の学生リーダーにお声掛けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

- 【主旨】 道の学生がおちばに帰り集い、直属学生活動の意義を認識し、今後の活動を充実させていく上での糧となるようつながりを持ち、道の学生のリーダーとしての意識の向上を図る。
- 【日程】 9月27日(土) 13時30分集合、9月28日(日) 16時30分解散
- 【対象】 各直属教会・教区学生会のリーダー層(高校・大学生層)
※学生会が結成されていない直属教会からでも是非ご参加ください。
※各直属教会・教区学生会3名まで
- 【参加費】 ひとり 1,000円(当日にお持ちください)
- 【内容】 講話「学生の信仰と教会」、にをいがけ(神名流し)、レクリエーション、ねりあい「直属学生活動の意義」「道の学生教会につながるDAY」等
- 【宿舎】 本部第12母屋
- 【申込・締切】 9月16日締切 ※申込用紙はwebでダウンロードいただけます。
※全日程の参加を原則としますが、やむを得ず遅刻、早退、中抜けする必要がある場合は、必ず前もってご相談ください。
※申込書をFAXで提出された場合は、届き次第こちらから確認の連絡をいたします。
※詳細資料発送のため、参加者本人の手に渡る住所をご記入ください(発送時期は9月中旬以降)。

《問い合わせ先》

〒632-8790 天理郵便局私書箱1号 天理教学生会担当委員会 事務局

TEL 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780

天理教学生会直属部 部長 鈴木 寿男 TEL 070-5655-0154

Happist

Opening the Way to a Brighter Tomorrow

Happist

Magazine for Students Opening the Way to a Brighter Tomorrow

発売日：立教177年7月25日より

場所：おやさとやかた真南棟3階 天理教学生会担当委員会事務局

価格：300円

カラー：イエロー、ピンク、ブラック

販売開始!!

お知らせ

八月例会

・期日 立教177年8月25日

・時間 15時半受付 16時開始

・場所 教庁四階講堂

報告

六月例会

去る6月25日、教庁4階講堂に於いて「6月例会」を開催。出席は38教区、120直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

・高知 6月23日 教務支庁40名

・山形 6月3日 教務支庁21名

・福岡 6月4日 教務支庁95名

・岐阜 6月30日 教務支庁10名

【直属学生層育成者講習会】

・片山委員出向

・片山委員出向

・片山委員出向

・藤江委員出向

・阪東	6月3日	大教会	100名
・本理世	6月6日	大教会	351名
・雨龍	6月18日	大教会	173名
・玉島	6月20日	大教会	225名
・浅草	6月21日	大教会	200名
・神川	6月21日	大教会	86名
・笠岡	6月21日	大教会	252名
・都賀	6月21日	大教会	125名
・繁藤	6月21日	大教会	90名
・名京	6月22日	大教会	140名
・飾東	6月22日	大教会	250名
・御津	6月22日	大教会	220名

Happist 9月号 予告

【特集】

正しい日本語について学ぼう

インタビュー 日本語学者 町田 健

連載 行事報告 こどもおちばがえり学生ひのきしん隊

・教理コーナー

おやさまのお言葉を身近に 中山 慶治 (本部員／本明實分教会長)

・輝く生き方見つけよう

Key Person ソプラノ歌手 小西 雅子

・信仰エッセー

明日の地図ひろげて 松尾 利佳子 (平安大教会長夫人)

・東馬場先生と学ぼう！

Happist ニュース 東馬場 郁生 (天理大学国際学部教授)

個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

※内容は一部変更になる場合があります。

「天理教学生会創立50周年記念式典」のご案内

本年は天理教学生会創立50年の節目にあたります。そこで、あらためて創立の思いを振り返るとともに、教祖130年祭に向けて学生会員が一手一つに活動していくことを誓い合う場として、下記の通り「天理教学生会創立50周年記念式典」を開催いたします。つきましては、貴教区・直属学生のスタッフ層へ参加を勧めるとともに、担当者の方々もご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

- 【期日】

立教177年10月25日（土）
- 【時間】

13：00～（受付12：30～）
- 【会場】

おやさとやかた南右第二棟（陽気ホールほか）
- 【対象】

各教区・直属学生スタッフ層、教区・直属担当委員、学生会OB等
- 【内容】

・表統領祝辞

・学生会委員長挨拶

・学生担当委員長挨拶

・学生による感話

・「教祖130年祭学生おちばがえり大会」イメージソング発表

引き続き

・記念講演 本部員富松幹禎先生 初代学生会委員長

・ふりかえり（学生のみ）

・誓いのおつとめ（東礼拝場）タづとめに合わせて

担当者の方々は、記念講演終了後、教庁講堂で行われる10月例会（16時～）にご参加ください。例会後、学生と共に誓いのおつとめをつとめて解散となります。

※会場周辺は大変混雑いたしますので、車でのご来場はご遠慮ください。

青空

「天理教の若い人たちが踊っていたけど、あれはすごいね。素晴らしいね」と近所の方から声を掛けられました。京都の四条河原町で、学生生徒修養会大学の部のにいがけ実修があり、その光景を見て何をしているのか気になって、その方は直接学生に声を掛け、尋ねられたそうです。

教祖のお供をして、真実の親の思いと信仰の喜びを伝えたいと、往来で勇み立つ大学生の姿が道行く人の目に留まり、心に響いたものと思います。

私の信仰初代は、当時町中のあちこちで人々が陽気に勇んでおてふりの練習をする光景に興味を抱きました。そして、その根本を知りたくておちばに帰り、その場で教えに感銘しお道に入信したと聞かせていただきます。

勇んだ姿が人の心を動かし、教えに導くきっかけとなり、おたすけにつながる。

私たちちようぼくが、常に心掛けなければならないことを、改めて学生に気付かせてもらったように思います。

前越乃國学生担当委員長 高橋秀紀